

人権作文

家族や身近な人との関係を見つめ直し、
人権や差別について話し合う機会を持ちましょう。

私と野球

阿蘇中央高等学校阿蘇清峰校舎3年
倉岡里奈

私は、野球が好き。高校野球に憧れをもっていた私が、女は甲子園に出られないことを知ったのは小六の何気ない会話からでした。(野球を続けたい)けれど、限られた野球環境という現実があり、中学ではソフトボール部に入部しました。けれど、やはり自分の好きな野球とは少し違う…。そう思い、高校では、高校野球をしないと強く想い、地元高校にマネージャーではなく、選手としてお願いし、硬式野球部に入部することができました。

野球部に入部して初めての夏、大会真っ只中に阿蘇は九州北部豪雨災害にみまわれました。そんな中、先輩方はバットではなくスコップを手に取り、野球部全体でも、阿蘇の復旧活動に力を入れました。勝って阿蘇を元気に！先輩方の強い気持ちから、順調に勝ち進みベスト十六の成績を残してくれました。

自分たちの代がやってくると、私はいつの間にか、公式戦が嫌いになっていました。女がユニフォームを着ていることから、周囲の視線を一気に浴び、「コスプレなのかな。」

などの心ない言葉や笑い声も耳に入ってきました。試合には出られない。分かっているけど同じ練習メニューをこなす、共に苦しみ、戦っていく仲間と試合で自分だけ戦う場所が違うとさみしささえ感じた時だって

ありました。(スタンドとベンチ…。こんなにも距離が離れてるんだ…)と改めて感じました。同じ練習をしているのに、出られないことも十分分かっているのに、どんどん欲が出てきて、試合に出たい！と強く思うようになっていました。女は登録さえしてもらえない。(けれど、ここで立ち止まっている自分が嫌でした。試合に出るために自練も増やし、自分を追い込みました。

「記録に残らなくても、記憶に残るような選手になりたい。」と強く思いました。けれど、どうしてだろう…。公式戦が近付くと弱くなってしまう。試合前に渡される背番号…。欲しくて欲しくて、母に「どっして男に産んでくれなかったの？」

って泣きながら聞き、困らせたこともありました。ケガや望んでもいない病気と、野球から離れそうな、そんな挫折した時期もありました。好きなことをやり続けることは簡単なようでとても難しいことなんだと気付かされた時、また一つ野球が好きになり、どんな状況になってもあきらめなかった自分を少し誇りに思いました。やめるきっかけはいくらかもありました。でも、そこで自分から逃げずに、きちんと自分と向き合って乗り越えてこられたのは、多くの人の支えがあったからでしょう。

三年間、自分が決めた「野球を続ける」という道を通した事によって、得たことがたくさんあります。一つ目は、女がユニフォームを着ることで笑っていた周囲の人たちの声が、応援の声に変わったというこ

と。人は変わる。いや、変えられるのだと気付けたこと。

二つ目は、改めて野球に出逢えて良かったと思えたこと。今まで決して簡単な道のりではなかったけれど、私が歩き続けた足跡が、野球をやりたい子にとつての道につながったらしいな。どうか、夢をあきらめず、自分の決めた道に真っすぐに進んでいってほしい。例え、選んだ道で挫折したって、神様はその人の人生に余る試練なんて決して与えない。辛い今こそ自分が試されているのだと思つて、もう一度、自分と向き合っていくってほしいです。

百人いれば百通りの甲子園がある。ならば、私も憧れだった高校野球をやり通したという、私にも甲子園への道があったということを残せて、自分を支えてくれた多くの方々に感謝しています。

野球と出逢えて良かった。

先生からのコメント

倉岡さんは「女だから」という理由で試合に出られず、非常に辛い思いをしました。当事者でないと分からない悔しさがあったと思います。差別は、学習しないと見えます。これからは、彼女は、野球と関わっていきますが、不合理と闘う強い心を支える仲間がいるはず。これからも「おかしいことは、おかしい」と声を大にして発言して行って下さい。応援します。

田空

第12回

わがまち 自慢



西小園原野組合の皆さん

かぶといわ

兜岩展望所

スキの迷路とお花畑で笑顔をいっぱいにしよう!



近年、増えているサイクリストにも対応。サドルラックが設置されており、サイクリングで立ち寄るのもおススメ。

A S O 田園空間博物館では、阿蘇市内各地の後世に残すべき地域の宝（名所旧跡、おススメスポットなど）を「サテライト」として登録し、地域の方々と一緒に守り伝えていく活動を行っています。
 その中の1つ「サテライト応援事業」では、サテライトのさまざまな取り組みに対し、資金面、人的サポートの両面から応援を行っています。

今回ご紹介するのは、「サテライト「兜岩展望所」」。サテライト応援事業」を活用し、平成27年度も引き続き兜岩展望所周辺の整備活動に取り組みました。

兜岩展望所について

西小園牧野内、ミルクロード沿いにある眺めのいい展望所は現在、農業法人西小園原野組合（小島良邦組合長、25名）が管理しています。スキの迷路や四季折々に楽しめるお花畑もあり、人気の観光スポットとなっています。

スキの迷路

スキの迷路は「展望所をもっと子どもたちが楽しめる場所にした」と、平成22年8月10日に展望所そばに作りました。毎年8月中旬から11月下旬まで楽しむことができます。看板は組合員が材料を持ち寄って作ったそうで、心のこもった温かみのあるものに仕上がっています。
 大きな迷路を作るのは大変な作業に思えますが、小島組合長は「屋外の作業が好きで、たくさんの人に喜んでもらえると思うと苦にならない」と笑顔で話していました。



無垢材の収納内部です。

風の通る呼吸する木の家

地域密着の工務店

渡辺建設株式会社

TEL 0967-34-0257

www.t-watanabekensetsu.jp

渡辺建設のこだわり - その1

- まぐさ工法
筋交いのかかる梁上下に、高さ270ミリの補強梁を取り付けます。地震時の揺れに効力を発揮します。
- カビ対策の手法
収納、クロゼットの内部には無垢の杉材を使用しています。調湿機能があるためです。他にも工夫が。

広告



兜岩展望所からの眺望。阿蘇谷、五岳を一望できるこの展望所は、大観峰や城山展望所などとともに、観光客に人気のスポットとなっている。

●あなたの地域の「サテライト」募集中！
 皆さまの地域にある歴史や由緒ある場所、残しておきたい大切なもの、伝統、文化などをサテライトに登録しませんか？
 お問い合わせは、ASO田園空間博物館事務局までお願いします。
 ☎ 35・5077



子どもたちに大人気の“スキの迷路”。2つのコースが設けられ、家族連れで楽しむ姿もあり展望所とともに人気のスポットとなっている。



昨年秋に行った植栽作業のようす。紅葉樹の植栽により、数年後は展望所の新たな名所として期待される。



2万4千株のチューリップ畑は、赤や黄色、白など鮮やかに色づき、開花中は多くの観光客の目を楽しませている。

兜岩展望所花畑

スキの迷路に続き、平成24年から展望所周辺をお花畑にする取り組みがスタート。最初に取り組んだのはチューリップ畑で、毎年最大2万4千株の球根を植え付けており、ゴールデンウィークに見ごろを迎え、多くの観光客の目を楽しませています。

このほか、ヒゴタイやツクシイバラ、オミナエシなども合計約2千株を植え付け、あと2、3年で定着すること。昨年は、これらに加え、紅葉樹を約20本展望所周辺に植樹しました。

これらの活動は組合員総出で取り組み、毎回の作業は短時間であったという間に作業を終えてしまうそう。兜岩展望所の活性化に向けた地域の方々と思入れの強さが伺えます。

今後の取り組み

スキの迷路は、コース中にクイズを準備したり、奥に草泊まりを作るなどして、子どもたちがより一層楽しめる場所になるよう計画しているそうです。また、花畑の面積を少しずつ拡大し、兜岩展望所一帯を四季折々の花で楽しめる場所に、さらにその周辺にウォーキングコースを作るなど、たくさんの方が楽しんでもらうことが目標だそうです。

塗装・防水工事・メンテナンス

井上 株式会社

〒869-2302

熊本県阿蘇市三久保448番地22

web <http://www.aso-inoue.com/>

E-mail info@aso-inoue.com



塗装内容

(屋根・壁・破風板・軒天・デッキ・塀・他)

防水内容

(雨漏れ調査・屋上・ベランダ・コーキング・他)

-お見積・調査 無料-

もしも 0967-32-1501